医療の質測定　定義書

更新日：2024 年 8 月 21 日

基本情報

指標番号
2115

名称
大腿骨転子部骨折の早期手術割合

分母
大腿骨転子部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた症例

分子
分母のうち、入院 2 日以内に手術を受けた症例数

指標群
整形外科

意義
適切な手術時期

年度
2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット
DPC 様式 1（親様式 1 のみ）

指標の定義算出方法

分母の定義
1. 解析期間に退院した症例を対象とする。
2. このうち、大腿骨転子部骨折の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名の ICD-10 コードが下記に含まれる症例

CD-10 コード	病名
S7210	大腿骨転子部骨折
S7211	大腿骨転子部開放骨折

手術コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022	2024
K0441	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○	○	○	○
K046-21	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの） 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○	○	○	○
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○	○	○	○
K0611	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○	○	○	○
K0631	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○	○	○	○
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	○	○	○	○	○	○	○	○
K0821	人工股関節置換術	○	○	○	○	○	○	○	○

医療の質測定　定義書

更新日：2024 年 8 月 21 日

K083	鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料 を含む。）（１局所につき）	○	○	○	○	○	○	○	○

3. このうち、大腿骨転子部骨折に対する手術が行われている症例。手術 1 の K コードが下記に含まれる症例。

4. 入院後 2 日以内の死亡症例を除く。退院時転帰の値として入院後 2 日以内に以下のいずれかが入力されている症例を除外する

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「０」の症例を除く

分子の定義

1. 分母で同定された手術が、入院から 2 日以内（入院日を 1 とする）に施行されている症例

その他

薬剤一覧の出力

いいえ

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

パーセント

結果提示時の並び順

降順

測定上の限界・解釈上の注意

1. ガイドラインではできる限り早期の手術を推奨する（Grade B）

参考資料

参考値

参考資料

1. 大腿骨頸部／転子部骨折診療ガイドライン　改訂第 3　 版